

市町村名	座間味村						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	慶留間・阿嘉地区避難道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくり防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難道路整備を行い災害に強い村づくりを図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,864	80,292	-	102,777	-
		(b) 予算現額	16,287	80,292	-	102,777	-
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,577	0	-	0	-
		(d) 繰越額		-	65,518		61,737
		A. 計(b+d)	16,287	80,292	65,518	102,777	61,737
	B. 執行済額		16,286	14,510	65,518	41,040	61,560
	うち交付金充当額		13,029	64,022	52,414	32,832	49,248
	次年度繰越額		-	-	-	61,737	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	18.1%	100.0%	39.9%	99.7%
予算の状況の説明		平成27年度慶留間・阿嘉地区避難道路整備事業(慶留間地区)請負工事をした。国立公園事業執行協議書申請手続きで、調整協議に不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となり繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	慶留間阿嘉地区避難道路の整備(L=520m)	目標	(L=520m)	()	()	()	
		実績	L=520m				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	慶留間阿嘉地区避難道路の整備(L=520m)が完了し目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	災害時に孤立する集落及び観光客の安全を守る避難道路整備を完了する	目標	()	(整備完了)	()	()	()
		実績		整備完了			
	医療機関への迅速な搬送や食料・物資等を確保することにより、住民、観光客の精神的な安心につなげることができる。(L=520m)	目標	()	(L=520m)	()	()	()
		実績		L=520m			
	進捗状況説明	平成25年度より実施した避難道路全延長を平成29年3月に竣工、供用開始することができた。災害時に孤立する集落の安全を守る避難道路の整備が完了(L=520m)したことで住民、観光客の精神的な安心につなげることができ目標を達成することができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	村道慶留間阿嘉線が災害等で破壊されたときに孤立を避けるために整備を行った。 本村に訪れた、不意な災害等での観光客が迅速に避難できるかが懸念される。	今後の、避難道路を活用しての避難訓練や観光マップへの記載など関係機関と調整し避難道路の周知を図る必要がある。

今後の取り組み方針

避難訓練の実施や区長会、村教育委員会など通じ周知を図る。
また、避難ルートの掲示板の設置や観光マップなどへの掲載する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
102,600	102,600	82,080	20,520	0



資金の流 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 業者は、指名参加願いに提出された登録事業者の中から、選出し指名競争入札を実施した。 予算規模については不用額は177千円であり、適正な規模であったと考えている(入札残)。 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	